

令和5年度 仙台市立高森中学校

第1学年

学習シラバス



1年__組__番 氏名_____

この冊子の使い方

この冊子は、令和5年度の高森中学校での学習計画や評価の方法などを教科ごとに掲載したものです。これを参考にしておおよその1年間の見通しを立て、計画的に学習に取り組みましょう。

※ただし、あくまでも予定なので、実際の進み方とずれることもあります。なるべく余裕を持った見通しを立てましょう。

◇ 1, 2年生は……

1, 2年生は学習計画をもとに、月ごとの学習計画を立ててみましょう。さらに行事予定を見ながら、定期考査に向けての準備もしっかりやっておきましょう。

学習は毎日の積み重ねが大切です。1, 2年のうちに毎日計画的に机に向かう習慣をしっかり身に付けておきましょう。

◆ 3年生は……

3年生は、3年生で習う学習と同時に1, 2年の復習も必要になってきます。バランスを考えながら、受験に備えてしっかりとした計画を立てましょう。

国語科 第1学年 学習の手引き（シラバス）

使用教科書	使用副教材
国語1（光村図書）	国語の学習1（明治図書） 積み上げ国語1（明治図書）

1. 目標

- ・読解や表現活動を通して確かな言語能力を身に付ける。
- ・表現する楽しさを味わわせ、自分の思いを適切な言葉で表現することができる。

2. 学習計画

月	題材名	学習のねらい
1 学 期	4 朝のリレー 言葉に出会うために 野原はうたう	<ul style="list-style-type: none"> ・音声の働きや仕組みについて、理解を深めることができる。 ・言葉がもつ価値に気付くとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。
	5 シンジュン	<ul style="list-style-type: none"> ・事象や行為、心情を表す語句の量を増やすとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。→登場人物の心情や行動を表す言葉に着目して作品を読み進めている。 ・「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えている。→場面ごとに会話や描写を整理して、登場人物の心情や関係の変化を捉えている。 ・場面の展開について、描写を基に積極的に捉え、学習課題に沿って感想を交流しようとしている。
	漢字1 漢字の組み立てと部首 漢字に親しよう1	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字の組み立てと部首について理解し、漢和辞典を使って調べている。 ・言葉がもつ価値に気付くとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。 ・漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使っている。
	6 ダイコンは大きな根？	<ul style="list-style-type: none"> ・比較や分類、関係付けなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使っている。→本文中で比較がどのように使われているかを理解している。 ・文章の中心的部分と付加的部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握している。→「問い」と「答え」から中心的部分を捉え、筆者の主張を理解している。 ・文章の中心的部分と付加的部分について積極的に捉え、学習課題に沿って筆者の工夫を伝え合おうとしている。
	ちよっと立ち止まって	<ul style="list-style-type: none"> ・原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。→筆者の主張と事例との関係を理解している。 ・文章の中心的部分と付加的部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握している。→序論・本論・結論の段落のまとまりに着目し、要旨を捉えている。 ・進んで要旨を把握し、学習の見通しをもって考えたことを伝え合おうとしている。
	7 情報を的確に聞き取る 情報を整理して書こう 話の構成を工夫しよう 好きなことをスピーチ で紹介する	<ul style="list-style-type: none"> ・比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使っている。 ・目的や場面に応じて日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理し、伝える内容を検討している。 ・集めた情報を、観点に沿って比較したり、共通点を見つけて分類したりして整理している。 ・目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。→目的や相手を意識して、情報を集めて整理し、説明の文章の構成を考えている。 ・音声の働きや仕組みについて、理解を深めている。→聞き手を意識して速さ、声の強弱、間の取り方、言葉の調子、声の高さを工夫している。
	漢字に親しよう2	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校学習指導要領第2章第1節国語の学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使っている。
	文法への扉1 言葉のまとまりを考えよう	<ul style="list-style-type: none"> ・単語の類別について理解している。→文法の必要性を知り、言葉の単位とその働きについて理解している。 ・単語の類別を理解するために、今までの学習を生かして、積極的にその前提となる言葉の単位について理解しようとしている。
	詩の世界	<ul style="list-style-type: none"> ・事象や行為、心情を表す語句の量を増やすとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。→詩の中の語句の意味を捉えながら、語感を磨き、語彙を豊かにしている。 ・比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使っている。→表現の技法を理解し、表現を工夫して詩を書いている。 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。→詩に描かれている情景を想像し、表現の効果を考えている。
	比喩で広がる言葉の世界	<ul style="list-style-type: none"> ・比喩などの表現の技法を理解し使っている。→文中で使われている比喩の文脈上の意味を理解している。 ・文章の中心的部分と付加的部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握している。→各段落の役割を理解し、要旨を捉えている。 ・進んで要旨を把握し、学習課題に沿って言葉について考えを深めようとしている。
言葉1 指示する語句と接続する語句	<ul style="list-style-type: none"> ・指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めている。→指示する語句と接続する語句の役割を理解している。 ・今までの学習を生かして、積極的に指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めようとしている。 	
読書 本の中の中学生 読書案内 本の世界を 広げよう	<ul style="list-style-type: none"> ・読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。 	
8 大人になれなかった弟 たちに……	<ul style="list-style-type: none"> ・読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。→戦時中という時代背景や、その中で暮らす人々の生活苦を理解している。 ・場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えている。→描写に着目して、登場人物の行動や心情の変化を捉えている。 ・登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に積極的に捉え、学習の見通しをもって学習しようとしている。 	
9 星の花が降るころに	<ul style="list-style-type: none"> ・比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解している。→様子や動きを何かにたとえた表現を探し、どのような情景や気持ちをたとえているのか考えている。 ・場面と場面、場面と描写などを結び付けたりして、内容を解釈している。→場面ごとの状況や、場面と人物などの描写を結び付けて、内容を読み深めている。 ・進んで場面と場面、場面と描写などを結び付けて、内容を解釈し、学習の見通しをもって考えを伝え合おうとしている。 	

2 学 期	10	言葉2 方言と共通語	<ul style="list-style-type: none"> ・共通語と方言の果たす役割について理解している。→共通語と方言の役割や特徴について理解している。 ・今までの学習を生かして、積極的に共通語と方言の果たす役割について理解しようとしている。 	
		漢字2 漢字の音訓	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使っている。→漢字の音・訓について理解し、熟語を正しく読んだり、同じ熟語の音訓の読み方を使って短い文を作ったりしている。 ・学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。 	
		聞き上手になろう 項目を立てて書こう 読み手の立場に立つ 根拠を示して説明しよう →案内文を書き、紹介しよう	<ul style="list-style-type: none"> ・音声の働きや仕組みについて、理解を深めている。事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。→話す速度や音量、言葉の調子や間の取り方などに注意しながらスピーチをしている。情報を項目ごとに整理することを理解し、案内文の作成に生かしている。 ・必要に応じて記録したり質問したりしながら話の内容を捉え、共通点や相違点などを踏まえて、自分の考えをまとめている。目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。読み手の立場に立って、表記や語句の用法、叙述のしかたなどを確かめて、文章を整えている。→話し手のスピーチに耳を傾け、聞いたことを基に、質問のしかたを工夫して聞き、対話をしながら話を十分に理解しようとしている。伝えたい事柄・相手に応じて、必要な情報が明確に伝わるように案内文を書いている。 ・進んで記録したり質問したりしながら、話の内容を捉え、今までの学習を生かして話を引き出そうとしている。集めた材料を積極的に整理し、学習課題に沿って案内文を書こうとしている。粘り強く文章を整え、学習課題に沿って案内文を推敲しようとしている。 	
		「言葉」をもつ鳥、シジュウカラ	<ul style="list-style-type: none"> ・原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。→筆者がどのような事実を基にどのような仮説を立てたかについて、理解している。 ・文章の構成や展開について、根拠を明確にして考えている。→筆者の意見と、それを支える根拠との関係を考えている。 ・文章の構成や展開について粘り強く考え、学習の見通しをもって考えたことを文章にまとめようとしている。構成や展開について、根拠を明確にして考えている。→筆者の意見と、それを支える根拠との関係を考えている。 ・文章の構成や展開について粘り強く考え、学習の見通しをもって考えたことを文章にまとめようとしている。 	
		漢字に親しもう3	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校で学習する漢字の読み方について理解している。 ・学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。 	
		音読を楽しもう 大阿蘇	<ul style="list-style-type: none"> ・事象や行為、心情を表す語句の量を増やすとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。→詩の言葉がどのように使われているか考えて、朗読をしている。 ・進んで表現の効果について考え、今までの学習を生かして朗読しようとしている。 	
		11	いろは歌 古典の世界 蓬萊の玉の枝——「竹取物語」から 今に生きる言葉	<ul style="list-style-type: none"> ・音読に必要な文語のきまりや訓読のしかたを知り、古文を音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しんでいる。→言葉の調子や間の取り方などを意識して音読している。 ・古典にはさまざまな種類の作品があることを理解している。 ・文語、漢文のきまり、古文特有のリズム、漢文特有のリズムや言い回しなどについて理解している。 ・様々な故事成語を理解している。 ・場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えている。→登場する人々の関係や思いに着目して読み、現代の自分たちと比べ、古典の世界と現代の人々に共通する部分を考えている。 ・古典にはさまざまな種類の作品があることを積極的に知り、今までの学習を生かして古文を音読しようとしている。
		12	「不便」の価値を見つめ直す	<ul style="list-style-type: none"> ・原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。→意見と根拠の関係に着目して、必要な情報を取り出し、整理している。 ・比較や分類、関係付けなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。→要約するための情報の整理のしかたを理解し、自分の考えをまとめるときに要約や引用を明確に示している。 ・目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈している。→目的に沿って必要な情報を結び付け、要約している。 ・文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにしていく。→賛成か反対か、立場を明確にして、筆者の主張に対する自分の考えをまとめている。 ・積極的に必要な情報に着目して要約し、自分の考えを文章にまとめようとしている。
		1	漢字に親しもう4	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校で学習する漢字の読み方について理解している。 ・学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
			文法への扉2 言葉の関係を考えよう	<ul style="list-style-type: none"> ・単語の類別について理解している。「文節どうしの関係」「連文節」「文の組み立て」について、理解を深めている。 ・単語の類別を理解するために、今までの学習を生かして、積極的にその前提となる文の組み立てについて理解しようとしている。
	2	読書 考える人になろう 読書案内 本の世界を広げよう	<ul style="list-style-type: none"> ・読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。→読書が、知識を得たり、新しいものの見方や考え方を知ったり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。 	
	3	少年の目の思い出	<ul style="list-style-type: none"> ・事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。→場面描写の言葉や登場人物の心情を表す言葉に着目している。 ・文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。→時間・場所・出来事・語り手に着目して作品の構成や展開を捉えたり、具体的な表現を挙げてその効果について自分の考えをまとめたりしている。 ・文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにしていく。→登場人物の考え方や感じ方について、自分の考えをもっている。 ・文章の構成や展開、表現の効果について積極的に考え、学習の見通しをもって様々な視点から読解を試みている。 	
		漢字に親しもう5	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校で学習する漢字の読み方について理解している。 ・学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。 	
		文法への扉3 単語の性質を見つけよう	<ul style="list-style-type: none"> ・単語の類別について理解している。→「単語の分類」「品詞」「体言と用言」について、理解を深めている。 ・今までの学習を生かして、積極的に単語の類別について理解しようとしている。 	
		随筆二編 さくらの はなびら	<ul style="list-style-type: none"> ・語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・進んで場面と場面、場面と描写などを結び付けて、内容を解釈している。 	
		漢字3 漢字の成り立ち 漢字に親しもう6	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字の成り立ちについて理解し、漢和辞典を使って調べている。 ・中学校で学習する漢字の読み方について理解している。 	

3. 評価の観点と評価方法

評価の観点	評価方法
知識・技能	定期テスト、単元テスト、小テスト、ノート及び提出物の点検 等
思考・判断・表現	定期テスト、単元テスト、小テスト、スピーチ、弁論、作文 等
主体的に学習に取り組む態度	観察、ノート・ワークの取り組み、自己評価カード 等

社会科 第1学年 学習の手引き（シラバス）

使用教科書	使用副教材
地理：中学生の地理【帝国書院】 地図帳【帝国書院】 歴史：中学生の歴史【帝国書院】	地理：よくわかる社会の学習 地理1 【明治図書】 観点別Wプリント社会1年(評価プリント) 【新学社】 歴史：よくわかる社会の学習 歴史1 【明治図書】 観点別Wプリント社会1年(評価プリント) 【新学社】

1 目標

- ・世界の地理的事象に対する関心を高め、さまざまな地域の地域的特色を考へて、日本と世界の諸地域に関する理解を深められるようにする。
- ・原始・古代から近世までの歴史的事象に対する関心を高め、それぞれの時代の特色を考へて、近世までの歴史の大きな流れを理解できるようにする。

2 学習計画

	月	題材名	学習のねらい
1 学 期	4	【地理】第一部 第1章世界の姿	・地球の表面のようすを地球儀や世界地図を活用して、地球上の位置の表し方や球面上の位置関係をとらえる技能や知識を身に付けることができる。 ・地球儀や世界地図を活用し、世界の地域区分や国々の名称と位置などを基に世界の地域構成を捉え、大まかな世界地図を描くことができる。
	5	【地理】第一部 第2章日本の姿	・地球儀や地図を活用し、日本の国土の位置や、世界各地との時差、領域の特色等を理解できる。
	6	【歴史】歴史のとらえ方と調べ方 歴史の流れと時代区分 歴史の調べ方・まとめ方・発表の仕方	・年代の流れや時代区分について、また、歴史的な見方・考え方について基本的な内容を理解することができる。
	7	【歴史】第1章古代国家の成立と東アジア 1 人類の登場から文明の発生へ 2 東アジアの中の倭(日本) 3 中国にならった国家づくり 4 展開する天皇・貴族の政治	・生活技術の発達、文字の使用、国家のおこりと発展などの共通する特色があることを理解できる。 ・人々の生活が、農耕の広まりとともに変化したことや、ヤマト王権による国内の統一、大陸から移住してきた人々が果たした役割を理解できる。 ・摂関政治と貴族の政治の特色、日本独自の文化の国風化が進んだことを理解することができる。
	8 9	【地理】第二部 第1章人々の生活と環境	・世界各地における人々の生活のようすとその変容について、自然及び社会的条件と関連付けて考察して、世界の人々の生活や環境の多様性を理解することができる。
2 学 期	10	【歴史】第2章武家政権の成長と東アジア 1 武士の世の始まり 2 武家政権の内と外 3 人々の結び付きが強まる社会	・古代から中世への転換のようすを、古代の天皇や貴族の政治との違いに着目して考察することができる。 ・東アジア世界との密接な関わりや、それが国内に及ぼした影響などを理解することができる。 ・農業など諸産業の発達、自治的なしくみの成立によって、人々の生活が向上したことを理解することができる。
	11	【地理】第二部 第2章世界の諸地域 1 アジア州 2 ヨーロッパ州 3 アフリカ州	・アジア州、ヨーロッパ州、アフリカ州の各地域について、人々の生活のようすを調べ、それぞれの州の地域的特色を理解することができる。
	12 ・ 1	【歴史】第3章武家政権の展開と世界の動き 1章 大航海によって結びつく世界 2章 戦乱から全国統一へ	・新航路の開拓や宗教改革によるキリスト教世界の動きが日本の社会に影響を及ぼしたことを理解することができる。 ・信長や秀吉の政策によって、中世に大きな力を持った勢力が力を失うなど、社会に大きな変化が生まれたことに気付くことができる。
	2 ・ 3	【地理】第二部 第2章世界の諸地域 4 北アメリカ州 5 南アメリカ州 6 オセアニア州	・北アメリカ州、南アメリカ州、オセアニア州の各地域について、人々の生活のようすを調べ、それぞれの州の地域的特色を理解することができる。

3 評価の観点と評価方法

評価の観点	評価方法
知識・技能	・定期考査 ・単元テスト ・ワーク等の取組状況とその内容 ・ノート、レポートの記述内容
思考・判断・表現	・定期考査 ・単元テスト ・授業での発言、発表内容 ・ワーク等の取組状況とその内容 ・ノート、レポートの記述内容
主体的に学習に取り組む態度	・授業での発言、発表内容 ・ノート、レポートの記述内容 ・自己評価等への記述内容

数学科 第1学年 学習の手引き（シラバス）

使用教科書	使用副教材
新しい数学1（東京書籍）	クリアノート1（浜島書店） 新観点別評価 単元1回 数学1（明治図書出版）

1. 目標

- ・数量や図形などについての理解を深め、数学的な表現や処理の仕方を身に付けよう。
- ・数学的な活動の楽しさ、数学の良さを実感して、粘り強く考え、数学を生活に生かそうとする態度を身に付けよう。
- ・問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を身に付けよう。

2. 学習計画

	月	題材名	学習のねらい
1 学 期	4	オリエンテーション 0章 算数から数学へ	<ul style="list-style-type: none"> ・数学の学習の心構え、授業での約束事などを確認する。 ・素因数分解の一意性を理解し、自然数を素因数分解することができる。
	5	1節 整数の性質 1章 正負の数	<ul style="list-style-type: none"> ・正負の数の必要性和意味を理解する。 ・正負の数の加法・減法の計算、加法と減法が混じった計算ができる。 ・正負の数の乗法・除法の計算、四則の混じった計算ができる。 ・身のまわりの問題を、正負の数を利用して解決することができる。
	6	1節 正負の数 2節 加法と減法 3節 乗法と除法 4節 正負の数の利用 章の問題	
	7	2章 文字と式	
	8	1節 文字を使った式 2節 文字式の計算 3節 文字式の利用 章の問題	
9	3章 方程式 1節 方程式とその解き方 2節 1次方程式の利用 3節 比例式 章の問題	<ul style="list-style-type: none"> ・文字を使うことの必要性和意味を理解し、具体的な数量を、文字を使った式で表すことができる。 ・文字に数を代入することの意味を理解し、式の値を求めることができる。項や係数1次式の意味を理解し、計算することができる。 ・いろいろな数量を文字を使って表したり、文字を使った式が表す数量を読み取ったりすることができる。 ・数量の関係を等式、不等式で表すことができる。 ・移項の意味を理解し、移項の考えを使って方程式を解くことができる。 ・数量の間の関係を方程式で表すことができる。 ・比例式の意味を理解し、比例式の考えを利用して文字の値を求めることができる。 	
2 学 期	10	4章 比例と反比例 1節 関数 2節 比例 3節 反比例 4節 比例と反比例の利用 章の問題	<ul style="list-style-type: none"> ・関数の意味、変域の意味と表し方を理解する。 ・比例の意味を理解し、比例の関係を式に表すことができる。 ・比例のグラフかくことや特徴を理解すること、比例の式を求めることができる。 ・反比例の意味を理解し、反比例の関係を式に表すことができる。 ・反比例のグラフかくことや特徴を理解すること、反比例の式を求めることができる。 ・身のまわりの問題を比例や反比例の関係を利用して解決することができる。
	11	5章 平面図形 1節 図形の移動 2節 基本の作図 3節 おうぎ形 章の問題	
	12	6章 空間図形 1節 いろいろな立体 2節 立体の見方と調べ方 3節 立体の表面積と体積 章の問題	<ul style="list-style-type: none"> ・平行移動、回転移動、対称移動の意味を理解し、用語や記号を用いて表したり、3つの移動を組み合わせた移動を考え、説明したりすることができる。 ・定規やコンパスの使い方を理解し、簡単な作図ができる。基本作図を利用し、いろいろな作図ができる。 ・おうぎ形の中心角の意味、弧の長さや面積との関係を理解する。おうぎ形の弧の長さや面積を求めることができる。 ・多面体、角錐、円錐、正多面体の意味とそれらの特徴を理解する。 ・空間内にある直線、平面の位置関係を理解する。 ・展開図、投影図、回転体の意味や特徴を理解する。 ・立体の表面積や体積を求めることができる。
	1	7章 資料の分析と活用 1節 資料の分析 2節 資料の活用 3節 ことからの起こりやすさ 章の問題	
	2		
	3		<ul style="list-style-type: none"> ・度数分布表やヒストグラムの意味や必要性を理解し、度数分布表やヒストグラムに表し、資料の傾向を読み取ることができる。 ・相対度数、累積度数の意味が分かり、求めることができる。 ・範囲、代表値、平均値、中央値、最頻値の意味が分かり、求めることができる。 ・資料を収集して分析し、そのデータの分布の傾向を読み取り、考察し判断することができる。 ・確率の意味を理解し、多数回の実験の結果をもとにして確率を求めることができる。

3. 評価の観点と評価方法

評価の観点	評価方法
知識・技能	定期テスト、単元テスト、小テスト、発表・発言、観察等
思考・判断・表現	定期テスト、単元テスト、論述やレポートの作成、発表・発言、グループでの話し合い、観察等
主体的に学習に取り組む態度	授業中の挙手・発言、課題への取組、観察、提出物（ワーク、宿題、ノート、自己評価カード「学びの足跡」など）の状況等

理科 第1学年 学習の手引き(シラバス)

使用教科書	使用副教材
新しい科学1 (東京書籍)	ワーク : よくわかる理科の学習1 (明治図書)

1. 目標

- ・自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。
- ・観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
- ・自然の事物現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

2. 学習計画

	月	題材名	学習のねらい
1 学 期	4	<u>1. いろいろな生物とその共通点</u> 1章 生物の観察と分類のしかた	<p>・身近なものの観察、実験を通して、生物の調べ方の基礎を身に付ける。様々な生物がいろいろな場所で環境とかわりながら生活していることに気付き、その特徴を捉えてどのようにして分類することができるか考えていく。また、様々な植物や動物を比較し得られた情報を整理することから、植物や動物の生活と種類について学ぶ。</p> <p>・身のまわりの物質について進んで関わり、目的意識を持って観察・実験を行い、技能を習得する。観察・実験の結果を分析して解釈し、表現する方法を身に付ける。また、固体や液体・気体の性質、物質の状態変化について日常生活と関連付けて理解し、物質に対する見方や考え方を養っていく。</p>
	5	2章 植物の分類 3章 動物の分類	
	6	<u>2. 身のまわりの物質</u>	
	7	1章 身のまわりの物質とその性質	
	8	2章 気体の性質	
2 学 期	9		
	10	3章 水溶液の性質	
	11	4章 物質の姿と状態変化	
	12	<u>3. 身のまわりの現象</u> 1章 光の世界	
	1	2章 音の世界 3章 力の世界	
	2	<u>4. 大地の変化</u> 1章 火をふく大地	
	3	2章 動き続ける大地 3章 地層から読み取る大地の変化	

3. 評価の観点と評価方法

評価の観点	評価方法
知識・技能	定期テスト、実験レポート(グラフや作図など)、単元テスト など
思考・判断・表現	定期テスト、実験レポート、単元テスト、授業中の発表 など
主体的に学習に取り組む態度	授業中の発言・発表、課題への取り組み(実験レポート、ワーク、ノート、振り返りシート) など

第 1 学年 英語

使用教科書	使用副教材
<i>NEW HORIZON English Course 1</i> (東京書籍)	<ul style="list-style-type: none"> ・エイゴラボ①(正進社) ・積み上げ(明治図書)

1. 目標

- ・積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する。
- ・英語を聞いたり読んだりして、内容を理解することができる。
- ・英語を話したり書いたりして、自分の考えを伝えることができる。
- ・言語や文化に対する理解を深め、国際社会に興味関心を持つことができる。

2. 学習計画

月	題材名	主な言語材料	学習のねらい
4	Unit 0 Welcome to Junior High School	あいさつ/教室英語 数字/曜日/月/名前 アルファベット	<ul style="list-style-type: none"> ○小学校で習った表現を使って、自分と相手のことについてやり取りすることができる。 ○アルファベットの知識をもとに、単語を読んだり書き写したりすることができる。
5	Unit 1 New School, New Friends	I am... I like... I can... Are you ...? Do you ...?	<ul style="list-style-type: none"> ○名前や好きなものなどについて伝え合うことができる。 ○出身地や好きなスポーツなどについて尋ねたり答えたりすることができる。 ○できることやできないことについて尋ねたり答えたりすることができる。
	Unit 2 Our New Teacher	This [That] is ... He [She] is... What...? Who...? How...?	<ul style="list-style-type: none"> ○身近な人やものについて話することができる。 ○人 [もの] がだれ [何] なのかについて、たずねたり、答えたりすることができる。 ○通学手段や朝食などふだんの行動についてたずねたり答えたりすることができる。
6	Unit 3 Club Activities	Where...? / When...? I want to ... How many...?	<ul style="list-style-type: none"> ○場所や時について尋ねたり答えたりすることができる。 ○自分がしたいことや夢について伝え合うことができる。 ○数を尋ねたり答えたりすることができる。
	Unit 4 Friends in New Zealand	Be... / Come... Don't... What time...? What+名詞...?	<ul style="list-style-type: none"> ○相手の状況に合わせて、指示や助言をすることができる。 ○現在の時刻を確認したり、時刻を尋ねたり答えたりすることができる。 ○どんなものが好きかを尋ねたり答えたりすることができる。
7	Unit 5 A Japanese Summer Festival	前置詞 / like...ing be good at ...ing went, ate, saw, had, was	<ul style="list-style-type: none"> ○どこにあるか・どこにいるかを説明することができる。 ○好きなことや楽しんでいること、得意なことを伝えることができる。 ○自分が体験したことを伝えることができる。
8	Stage Activity 1 "All about Me" Poster		<ul style="list-style-type: none"> ○自分の好きなことについて、つながりのある文章を書くことができる。
9	Unit 6 A Speech about My Brother	三人称単数現在形 (肯定文/疑問文/ 否定文)	<ul style="list-style-type: none"> ○家族などが好きなことを聞き取ったり、話したりすることができる。 ○家族や身近な人について伝えたり、話の概要を捉えたりすることができる。 ○話の概要を捉えたりすることができる。 ○友達などについてのスピーチを聞き取ったり、友達の趣味などについてたずね合い、わかったことを整理して書いたりすることができる。 ○対話の概要を捉え、その情報に追加してたずねたり書いたりすることができる。 ○まとまりのあるスピーチをしたり、やり取りしたことを整理して紹介文を書いたりすることができる。
10	Unit 7 Foreign Artists in Japan	代名詞	<ul style="list-style-type: none"> ○自分と相手以外の人が何をやる人かを聞き取ったり、質問したりすることができる。 ○どのような人かをたずねたり答えたりすることができる。

11			<ul style="list-style-type: none"> ○文化や言葉、食べ物などについて知るために、尋ねたり答えたりすることができる。 ○人について聞き取ったり、尋ねたり答えたりすることができる。 ○だれのものかを尋ねたり答えたりすることができる。 ○情報を整理して伝え合うことができる。
	Unit 8 A Surprise Party	現在進行形 (肯定文/疑問文/ 否定文)	<ul style="list-style-type: none"> ○ほしいものを伝えたり、電話での会話を聞き取ったりすることができる。 ○今していることを伝えるために、現在の動作について説明することができる。 ○現在の動作について尋ねたり答えたりすることができる。 ○現在の状況を知るために、今していることを伝え合うことができる。 ○感動や驚きを表現することができる。 ○今していることについて説明したり、尋ねたりすることができる。
	Unit 9 Think Globally, Act Locally	She wants [tries] to... What do you want to ...? The children look happy.	<ul style="list-style-type: none"> ○したいことやしようとしていることを説明することができる。 ○したいことやする必要のあることを尋ねたり答えたりすることができる。 ○おたがいの考えを尋ねたり答えたりすることができる。 ○人やものの様子を説明するために、視覚的な判断を伝えることができる。 ○世界や地域の問題を伝えるために、したいことやする必要のあることについて、自分の思いを伝えることができる。
12	Stage Activity 2 My Hero		<ul style="list-style-type: none"> ○好きな有名人やあこがれの人について尋ねたり、説明したりすることができる。
	Unit 10 Winter Vacation	過去形 (肯定文/疑問文/ 否定文)	<ul style="list-style-type: none"> ○過去にしたことを伝え合うことができる。 ○過去の出来事を伝えるために、自分がしたことなどを説明することができる。 ○最近の出来事を伝えるために、自分がしたことなどを、尋ねたり説明したりすることができる。 ○過去の出来事を尋ねたり答えたりすることができる。
	Unit 11 This Year's Memories	I was... Were you...? There is [are]... 過去進行形 (肯定文/疑問文/ 否定文)	<ul style="list-style-type: none"> ○過去の状態や気持ちなどを伝え合うことができる。 ○過去の状態や気持ちを尋ねたり答えたりすることができる。 ○「...がある」と尋ねたり答えたりすることができる。 ○自分の町を紹介するために、町にある施設を説明することができる。 ○過去の動作を伝えるために、過去のある時点にしていたことについて、説明することができる。 ○英語で日記を書くことができる。
1	Stage Activity 3 My Favorite Event This Year		<ul style="list-style-type: none"> ○思い出に残った学校行事について発表することができる。
2			
3			

3.

評価の観点	評価方法
知識・技能	定期テスト、単元テスト、小テスト、パフォーマンステスト、発表・発言、観察等
思考・判断・表現	定期テスト、単元テスト、発表・発言、ペアワーク、グループワーク、パフォーマンステスト、観察等
主体的に学習に取り組む 態度	授業中の挙手・発言、課題への取組、観察、提出物（ワーク、宿題、ノートなど）の状況、振り返りシート等

音楽科 第1学年 学習の手引き（シラバス）

使用教科書	使用副教材
中学生の音楽1（教育芸術社）	中学生の音楽ワークブック1（正進社）

1. 目標

- ・音楽の多様性について理解し、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けよう。
- ・曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴こう。
- ・主体的・協働的に学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を身に付けよう。

2. 学習計画

	月	題材名	学習のねらい
1 学 期	4	オリエンテーション	・1年間の予定を知る。授業時の約束を確認する。
	5	校歌 鑑賞「春・第1楽章」	・曲想と音楽の構造との関わりについて理解することができる。 ・曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができる。
	6		
	7	合唱コンクール選曲 合唱練習 合唱コンクール	・音程を正しくとらえて歌うことができる。 ・歌詞の内容について分析し、表現に結びつけることができる。 ・全体練習を通し、強弱の変化を生かしながら、思いを込めて歌うことができる。 ・曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、それらを生かした歌唱表現を創意工夫して歌うことができる。
	8 9	鑑賞「ジョーズ」 「魔王」	・曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができる。
2 学 期	10	心の歌「赤とんぼ」 「浜辺の歌」	・曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、それらを生かした歌唱表現を創意工夫して歌うことができる。
	11	リズムゲーム・リズムアンサンブル	・音のつながり方の特徴について理解するとともに、それらを生かした創作表現を創意工夫して音楽をつくることができる。
	12	器楽（AR） 喜びの歌、かっこう、オーラリー等	・アルトリコーダーの扱い方や奏法などについて理解することができる。 ・タンギングの正しいやり方を習得する。 ・適切な息の量などを考えて吹くことができる。 ・いろいろな曲を吹くことができる。
	1	歌唱	・校歌の新しいパートの音とりをする。 ・自分のパートの音程を正しく歌うことができる。 ・他のパートにつられないで歌うことができる。 ・表情よく歌うことができる。
	2	箏曲「六段の調べ」	・箏の基本的な奏法を理解することができる。
	3	雅楽「越天楽」	・「さくらさくら」を弾くことができる。 ・音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わりについて理解することができる。
	3		

3. 評価の観点と評価方法

評価の観点	評価方法
知識・技能	実技テスト、ワークシート、発表、発言、観察等
思考・判断・表現	実技テスト、ワークシート、グループ（パート）での話し合いや意見交換、取組等
主体的に学習に取り組む態度	授業中の挙手、発言、取組、振り返りカード、提出物等

美術科 第1学年 学習の手引き（シラバス）

使用教科書	使用副教材
美術1（日本文教出版）	美術資料 宮城の美（秀学社）

1. 目標

- ・楽しく美術の学習に取り組み、美術を愛好する心情を養い、心豊かな生活を創造していく意欲と態度を養う。
- ・感性や創造力を高め、豊かに発想し構想する力や美術に対する見方、感じ方を広げることができるようにする。
- ・造形的な見方について理解し、意図に応じて表現方法を工夫して表すことができるようにする。

2. 学習計画

	月	題材名	学びの目標
1 学 期	4	見つめると 見えてくるもの	・身近なものの特徴や美しさなどをとらえて表すことに関心を持ち、意欲的に取り組む。 ・形や色彩、明暗、質感などに着目し、特徴、印象、美しさを線の強弱や水加減で表す。
	5	絵画 鑑賞	・形や色彩、質感などを表現する工夫を考え、構想を練ったり鑑賞することができる。
	6	なぜか気になる	・自分だけの気になる場所を見つけ、その特徴を積極的に表現しようとすることができる。
	7	風景	・選んだ場所のイメージに合った構図、ものの形を工夫して表現することができる。
	8 9	絵画 鑑賞	・表現したい雰囲気を、絵の具の使い方を工夫し、効果的な色彩で描くことができる。
2 学 期	10	じっくり見ると 見えてくる	・身近なものをよく見たり、触ったりして特徴をとらえ、意欲的に取り組むことができる。 ・特徴やイメージをもとに、形や色彩、質感などの工夫を考え、構想を練ることができる。
	11	彫刻 鑑賞	・作品を鑑賞し、作者の意図や工夫について話し合う。
	12	文字って面白い デザイン 鑑賞	・文字が意味する形や色彩に着目し、伝達するイメージをとらえ、工夫して表現できる。 ・文字の分かりやすさ、美しさを形と色彩でどのように表現するか構想を練る。 ・文字をデザインすることに興味を持ち、意欲的に取り組むことができる。
	1	広がる模様の世界 デザイン 鑑賞	・身の回りにあるものを観察し、形の特徴をとらえ、構成の工夫をすることができる。 ・色彩の要素や色の組み合わせや効果を考えながら彩色することができる。
	2		・模様をデザインすることに関心を持ち、意欲的に取り組むことができる。
	3	屏風 美の仕掛け 鑑賞	・屏風表現の良さや見え方の変化に関心を持ち、意欲的に鑑賞に取り組むことができる。 ・日本の美術文化について考え、鑑賞することができる。
	3	墨と水の出会 絵画 鑑賞	・墨による表現の効果をとらえ、墨の技法などを工夫して表すことができる。 ・筆使いや水加減の工夫を考え、構想を練ったり鑑賞したりする。 ・墨による表現活動に興味を持ち、意欲的に取り組むことができる。

3. 評価の観点と評価方法

評価の観点	評価方法
知識・技能	授業の取組、ワークシート、クロッキーブック、作品
思考・判断・表現	授業の取組、ワークシート、クロッキーブック、作品
主体的に学習に取り組む態度	授業の取組、ワークシート、クロッキーブック、作品

保健体育科 第1学年 学習の手引き（シラバス）

使用教科書	使用副教材
新しい保健体育（東京書籍）	学習ノート（東京書籍） ステップアップ中学体育（大修館書店）

1. 目標

- ・運動の楽しさや喜びを味わい、運動を豊かに実践できるようにするため、運動、体力の必要性について理解するとともに、基本的な技能を身に付けよう。
- ・自己の課題を発見し、合理的な解決に向けた思考・判断をするとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養おう。
- ・運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、一人一人の違いを認めようとする意欲を育てよう。
- ・生涯を通じて心身の健康の保持増進を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養おう。

2. 学習計画

	月	題材名	学習のねらい
1 学 期	4	オリエンテーション ・集団行動	・保健体育の学習の心構え、授業での約束事などを確認する。 ・集団で規律ある行動を効率よく取れるようにすることで、学校生活や緊急時に生かせるようにする。
	5	・体づくり運動(体ほぐし) *体力テスト	・体を動かす楽しさや心地よさを味わう。
	6	・陸上競技	・短距離走やリレーを通して、記録の向上や競争の楽しさを味わう。
	7	・水泳	・クロールや平泳ぎの泳法を身に付け、記録の向上や競争の楽しさを味わう。
	8	・保健編第2章	・心身の機能の発達と心の健康について理解を深めるとともに、ストレスへの対処法を身に付ける。また、自ら課題を発見し、その解決に向けて思考し判断するとともに、それらを表現できる力を身に付ける。
	9	・器械運動	・マット運動を通して、技ができる楽しさや喜びを味わう。
2 学 期	10	・球技①ネット型 ・武道（剣道）	・ボールや用具の操作と、基本的な技能を身に付け、空いた場所をめぐる攻防をする。 ・剣道を通して、武道の特性や成り立ち、伝統的な考え方を学び、基本動作を身に付ける。
	11	・体育編1章	・運動やスポーツが多様であることについて理解できるようにする。また、自己の課題を発見し、より良い解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を身に付ける。
	12	・球技②ゴール型	・ボール操作と空間に走り込むなどの動きによって、ゴール前での攻防をする。
	1	・保健編第1章	・健康な生活と病気の予防について理解を深める。また、自ら課題を発見し、その解決に向けて思考し判断するとともに、それらを表現できる力を身に付ける。
	2 3	・ダンス	・感じを込めて踊ったり、みんなで自由に踊ったりする楽しさや喜びを味わう。

3. 評価の観点と評価方法

評価の観点	評価方法
知識・技能	授業中の取組、単元の実技テスト、定期考査等
思考・判断・表現	ワークシートの内容、授業中の発言等
主体的に学習に取り組む態度	授業への取組（ワークシートへの記入、授業態度等）

技術科 第1学年 学習の手引き（シラバス）

使用教科書	使用副教材
技術・家庭 技術分野（開隆堂）	技家ノート 技術分野（開隆堂）

1. 目標

- ・学んだことがらと生活とのかかわりを考え，生活に生かそうとする態度を身に付けよう。
- ・学んだ知識と技術の活用場面や活用方法を考える力を身に付けよう。
- ・学んだ知識と技術を生活の場で活用する力を身に付けよう。
- ・学んだことがらと生活とのかかわりを理解する力を身に付けよう。

2. 学習計画

	月	題材名	学習のねらい
1 学 期	4	「生活や社会における技術の役割」	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な生活の中にもさまざまな技術があることに気付く。 ・技術の素晴らしさを知り，興味を持つ。 ・技術が生活の向上や産業の発展に影響を及ぼしていることを知る。 ・材料の材質や大きさを知り，自分がつくる木製品の構想を考える。 ・キャビネット図・等角図・第三角法を理解する。 ・構想をもとに，材料にけがきをする。 ・けがきをもとに，のこぎりびきをする。 ・切った部品を，ベルトサンダを使って削る。 ・部品にくぎ打ちや部品の位置をけがく。 ・くぎ打ちをする。 ・紙やすりを使い修正をし，塗装をする。 ・材料と加工に関する技術について知る。
	5	(1) 技術分野で学ぶこと	
	6	(2) 技術を見つけよう	
	7	(3) 技術とわたしたちの生活	
	8	(4) 学習の見通しをもとう	
2 学 期	10	「生物育成に関する技術」	<ul style="list-style-type: none"> ・生物育成に適する条件と生物の育成環境を管理する方法を知る。 ・生物育成に関する技術の適切な評価・活用について考えること。
	11	(1) わたしたちの生活と生物育成	
	12	(2) 作物の栽培	
	1	(3) 動物の飼育	
	2	(4) 水産生物の栽培	
3	(5) 生物育成に関する技術とわたしたち		

3. 評価の観点と評価方法

評価の観点	評価方法
知識・技能	製図実技，製作品，定期考査
思考・判断・表現	生活に生かそうとする思考，使用する工具の判断，製作物の工夫，定期考査
主体的に学習に取り組む態度	授業への取組，発表，学習ノートやプリントの提出

家庭科 第1学年 学習の手引き（シラバス）

使用教科書	使用副教材
技術・家庭 家庭分野 (開隆堂)	技家ノート家庭分野 (開隆堂)

1. 目標

- ・学んだことと生活とのかかわりを考え、生活に生かそうとする態度を身に付けよう。
- ・学んだ知識と技術の活用場面や活用方法を考え、より良い生活を工夫する力を身に付けよう。
- ・生活の自立に必要な基礎的・基本的な技術を身に付けよう。
- ・生活に自立に必要な基礎的・基本的な知識を身に付けよう。

2. 学習計画

	月	題材名	学習のねらい	
1 学 期	4	「ガイダンス」	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校での学習を振り返り、これからの家庭分野の学習の見通しを持つ。 ・衣服と社会生活とのかかわりを理解し、目的に応じた着用や個性を生かす着用を工夫する。 ・衣服の計画的な活用の必要性を理解し、適切な選択ができる。 ・衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れができる。 ・手縫いによる補修の仕方を身に付ける。 	
	5	B「衣食住の生活」の「衣生活」		
	6	(1) 目的に応じた衣服の選択 ①衣服で伝わるメッセージ ②自分らしくコーディネート ③つなげよう和服の文化		
	7	④上手な衣服の選択 (2) 日常着の手入れと保管 ①まかせて衣服の手入れ		
	8	②布の繊維に応じた手入れ ③めざそう洗濯名人 ④補修や収納・保管		
	2 学 期	9		(3) 生活を豊かにするものの制作
		10		製作（基礎縫い小物入れ）
		11		
12		B「衣食住の生活」の「住生活」		
1		「住まいのはたらきとここちよさ」 ① 住まいのはたらき ② 住まいの空間		
2		「安全な住まいで安心な暮らし」 ① 家庭内事故への備え ② 災害の備え		
3	「持続可能な住生活」	<ul style="list-style-type: none"> ・ミシンを使った布を用いた物の製作を通して、生活を豊かにするための工夫をする。 ・自分の成長は周囲の人々に支えられてきたことに気付く。 ・家庭や家族のはたらきと基本的な機能を理解する。 ・自分や家族の生活は家庭内外での活動に支えられていることに気付く。 ・家庭生活と地域とのかかわりについて理解する。 		

3. 評価の観点と評価方法

評価の観点	評価方法
知識・技能	製作実技，製作品，定期考査
思考・判断・表現	生活に生かす考えや工夫，用具の正しい使い方の判断，定期考査
主体的に学習に取り組む態度	授業への取組，発表，学習ノートやプリントの提出